

—八代地域における生姜の栽培暦を改定中—

八代支部は11月20日に八代地域の生姜の栽培暦改定について第2回検討会を開催しました。

熊本県は生姜の生産量が高知県につぐ全国第2位。なかでもJAやつしろ生姜部会は高品質な生姜を栽培し、厳しい荷受体制、貯蔵管理など栽培以外の面にも力を注ぎ、「困い生姜」として関東、関西などに通年出荷をしています。

これまで土壌消毒剤として使用されてきた臭化メチル剤が全廃されたことに伴い、根茎腐敗病に対する新しい代替技術を生産現場に普及することを目的として、今回栽培暦の改定を計画しました。

8月の第1回検討会以降、これまでの技術と知識の蓄積を基に、農研センターに支援を頂きながら、より見やすく、より分かりやすく議論を重ねています。完成後には新しい栽培暦を利用した講習会も計画しています。

この改定栽培暦が現場で活用され、これまで以上に品質の高い生姜が生産されることを期待しています。



検討会の様子



今年の生姜品評会